

埼玉県サステナブル企業認証制度

概要

県内企業の持続可能な経営(サステナブル経営)やSDGsの達成を促進し、「日本一暮らしやすい埼玉」を実現するため、10年、20年先を見据え、**高いレベルでサステナブル経営に取り組んでいる企業を県が認証**する。

埼玉版SDGs推進の取組

◆埼玉県SDGsパートナー登録制度

- ・自らSDGsに取り組む県内企業等を登録
- ・登録数: R7.9末時点 **2,045者**



◆埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

- ・官民連携で相乗効果を生む事業を検討・実施
- ・会員数: R7.9末時点 **2,383者**

多くの県内企業がSDGsの取組を開始

課題

- ✓ SDGsの達成に向けた更なる取組の拡大と深化
- ✓ 大企業が求められるサステナビリティ情報の開示等が中小企業にも影響することへの対応

「サステナビリティ開示基準」(令和7年3月公表)
東証プライム上場企業において気候変動や社会課題等への取組に関する情報開示の基準が段階的に適用
(令和9年3月期～)

「埼玉県サステナブル企業認証制度」を創設

埼玉県サステナブル企業認証制度

対象

県内に事業所等を有する**中小企業**

認証の要件

SDGsの三要素(環境・社会・経済)に関する**20の審査項目(200点満点)**で一定の水準を満たすこと

認証有効期間

3年間 ※経過後の年度末まで

審査項目

東証プライム上場企業に適用される情報開示基準などの**要素を反映**

	一般項目(経済・社会) <14項目>	環境項目(環境) <6項目>
必須 回答 項目	・ガバナンス(企業統治)体制 ・企業情報の公開 ・職場における安全衛生管理 ・生産性の向上 等	・環境負荷低減マネジメント ・リスクと機会の認識 ・気候変動への取組
選択 回答 項目	・多様な人材の活躍支援 ・人材定着・確保 ・健康経営への取組 等	・自然環境との調和 ・資源循環・廃棄物削減 ・水資源の確保

埼玉県サステナブル企業認証制度

制度の体系

埼玉県サステナブル企業認証制度

サステナブル
経営の取組
(客観評価)

取組
レベルの
向上

プラチナ認証 160点(8割)以上

ゴールド認証 120点(6割)以上

SDGsの取組
(自己評価)

埼玉県SDGsパートナー登録制度

認証によるメリット

- サステナブル経営の取組を県が証明することで企業の信用力の向上につながり、**大企業等との取引においてプラスとなる**
- 社員のモチベーション向上や就職先として学生等へのアピール材料となり、**企業の人材定着・確保につながる**
- 県が認証企業を積極的に広報することにより、**知名度やイメージが向上する**
- 認証ロゴマークを活用し、**対外的にアピールできる**

<認証ロゴマーク>



埼玉県
サステナブル企業認証
PLATINUM



埼玉県
サステナブル企業認証
GOLD

埼玉県サステナブル企業認証制度

制度の特色

①簡易な内容の審査項目を設定

分かりやすく、理解しやすい具体的な内容の審査項目(設問及び選択肢)を設定

(設問例)働き方に対する従業員の多様なニーズに応えるため、次の制度を導入している。(複数選択可)

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| ア 時間単位の有給休暇制度 | イ テレワーク制度 | ウ フレックスタイム制度 |
| エ 副業、兼業制度 | オ 選択的週休三日制度 | カ 導入していない |

②企業のサステナブル経営への取組状況を「見える化」

「取組状況確認ツール」の入力シートにチェックすることで「評価シート」「取組状況開示書」を自動生成

③ヒアリング調査を踏まえた評価

書面審査に加え、ヒアリングを通じた取組の実態調査を行った上で専門家が評価

埼玉県サステナブル企業認証制度

【取組状況確認ツール】

<入力シート>

●不法行為や不祥事を未然に防ぐため、次の取組を通じてガバナンス(企業統治)を強化している。

☒ ア 会社の経営体制及び各部署との関係が分かる組織図を作成している

☐ イ 企業意思決定において多様性を確保するため、女性や外国人を取締役に任命している

企業の該当する
選択肢にチェック

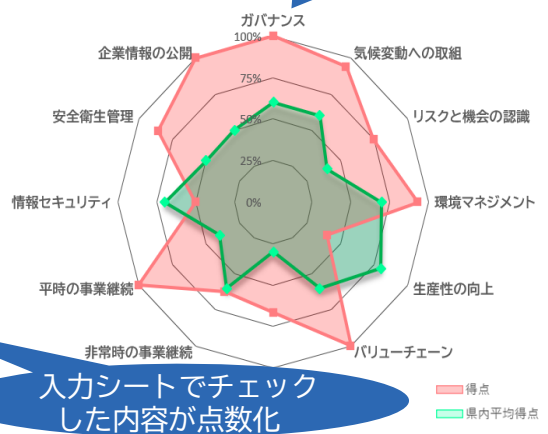
自動生成

<評価シート> ※県内平均得点は今後表示

項目		点数	配点
総合評価		150	200
一般開示項目	必須 ガバナンス(企業統治)体制	11	11
	必須 企業情報の公開	6	6
	必須 職場における安全衛生管理の推進	6	7
	必須 情報セキュリティ等の対策	5	9
	必須 平時の事業継続に関する取組	8	8
	必須 非常時の事業継続に関する取組	5	8
	必須 公正な経済取引(不正防止)	4	6
	必須 バリューチェーン全体で社会的責任を果たす取組	5	5
	必須 生産性の向上	8	20
環境項目	必須 環境負荷低減マネジメント	14	15
	必須 リスクと機会の認識	6	8
	必須 気候変動への取組	16	17

自動生成

自社の取組状況が
一目で分かる



<取組状況開示書>

自社の主な取組
を集約し、表示

「埼玉県サステナブル企業認証制度」に基づく
取組状況開示書

「埼玉県サステナブル企業認証制度」の審査項目のうち、当社が取り組んでいる項目を開示します。

日付: 令和7年10月21日
社名: 埼玉商連

当社は〇〇という経営理念に基づき、持続可能な成長を目指して事業を展開している。特に、自然環境保護のため、10年以上にわたり植林活動を継続している。

水資源の確保

健全な水循環を目的とした河川や海洋環境の保全を行っている
健全な水循環の確保を目的とした山林の植林・保全を行っている
水資源の有効活用、節水に向けた取組、商品・技術、サービス等を提供している
少量灌漑、雨水を利用している
水資源の保全や有効活用を行っている

生産性の向上

定量的な目標を設定し、独自に生産性向上への寄与度などの評価を行っている
従業員にデジタル化に向けた計画や手順を示している
部門を超えたデジタル化のための体制やプロジェクトを構築している
「経営革新計画承認制度」による承認を受けている

埼玉県サステナブル企業認証制度

スケジュール

令和7年10月22日
～12月22日

申請受付期間

令和8年 3月頃

認証決定(結果通知)

4月頃

認証式(認証書交付)



詳細情報は、下記サイト参照
(「取組状況確認ツール」のダウンロードもこちら↓から)



<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/sdgs/kigyouninnsyou.html>

認証までの流れ

<STEP1 ツール入手>

「取組状況確認ツール」をダウンロード



<STEP2 自己採点>

ツールを使って自社の取組状況を確認
自己採点で**120点以上**であれば申請可



<STEP3 申請書提出>

申請書に書類を添付して県に提出



<STEP4 審査>

県による書面審査、ヒアリング及び審査委員会



<STEP5 結果通知>

県からの結果通知を受領

にーぜろにーごー 東京2025デフリンピックが開催されます

大会の概要

・第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025

会 期：令和7年11月15日～26日(12日間)

会 場：東京都、福島県、静岡県

参 加 国：70～80か国・地域

参加者数：約6,000人

競 技 数：21

特 徴：○日本で初開催

○1924年にパリで第1回大会が開催されてから、
100周年となる大会



県ゆかりの選手を応援しよう

予約不要
観戦無料

県ゆかりの選手37名が12競技に出場予定

陸上	7人	オリエンテーリング	5人
バドミントン	6人	射撃	1人
バスケットボール	2人	水泳	1人
サッカー	7人	卓球	1人
ハンドボール	2人	テニス	2人
空手	1人	バレーボール	2人

うちプラチナアスリート等として県が
支援してきた選手は10名！

※県ゆかりの選手とは：本県出身者、県内中学校・高等学校・特別支援学校
卒業生、県内団体所属者（内定決定時）、県内在住者等



空手



小倉 涼 選手
坂戸市在住

テニス



親松 直人 選手
熊谷市在住

水泳



吉瀬 千咲 選手
和光市在住

県ゆかりの選手一覧は
「スポナビ！サイタマ！」で検索

